福岡発、美と技。

選んだのは、メイド・イン・フクオカ

代表の廣松さん。「私たちは大川という産地の一部。個性的な工場あっての大川です。」

光る、職人技。

非効率な ひと手間を守る。

博多リバレインモール2階に展開する［ファクトリーショップ ヒロマツ］でディスプレイされている家具はどれも、長い歳月をかけてたくましく生長した樹の温もりや、生命力にあふれています。手でふれた時にホッとするような包容力は、一体どこからくるのか――その秘密は、母体である［広松木工］の変わらないものづくりの姿勢にあります。

家具の街・大川に1950年に創業した［広松木工］。代表取締役の廣松嘉明さんは今から30年近く前、「こちらの家具を持ってお嫁入りしたいのです。どうか愛知県まで送ってください」という一通の手紙を受け取ったそうです。

「当時は作った家具を専門店や百貨店に卸すまでが私たちの仕事でした。しかし、この手紙で自分たちの仕事は使う人に喜んでもらってこそ成り立つんだと気がつきました。小売りを目指そうと考えたのは、喜んでくれるユーザーさんから、私たちもまた喜びをいただけるからです」。

こうして、自社の商品やものづくりの考えを広く紹介する直営店［ファクトリーショップ ヒロマツ］が誕生。家具を使う人の心と深くリンクしながら、時間が経つほどに様々な木の表情とその変化を楽しめる「SONOチェスト」や、シンプルでナチュラルかつ機能的な「シェーカーチェア」など、多くのロングセラーを発表してきました。

今、大川市の工場には会社の姿勢やデザインに共感する多くの若者が全国から集まり、家具づくりに取り組んでいます。どの家具のパーツも切り出しには機械を使いますが、仕上げは必ずパーツの角をスタッフがやすりを持った手でなでて、手になじむよう丸みを出していきます。

この“なでる”作業は、家具に作り手の気持ちを込める、とても大事な工程。木の特徴や最終的なデザインを把握し、最小限の手数で最高の手ざわりを出すという、高度な知識と技術が求められます。

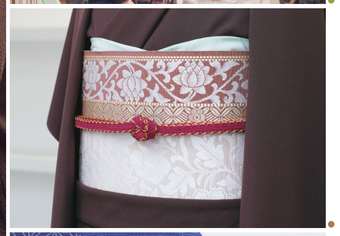
人間の感覚だけが知り得る、絶妙なひと手間。計算だけでは生まれないミスマッチ感の追求：効率的なものづくりでは省かれがちなこうした作業の積み重ねが、［広松木工］の家具の魅力――長く愛し続けたくなる真の理由です。

ファクトリーショップ ヒロマツ 2F
☎092・409・1752

広松木工株式会社 本社
福岡県大川市鬼古賀174-1
☎0944・87・6456

- 切り出したパーツの表面をやすりで“なでる”。実力ある職人のみに任される要の作業。
- 大きな木材から段階を踏んで細かいパーツを切り出し、塗装も行う。明るい工場内で様々な作業をこなす若いスタフの情熱は、家具の街・大川の新しい希望です。
- 端材も永い年月をかけて育った貴重な資源。細かくカットし、「SONOビーンズ」や「SONOクレイ」といった商品が生まれる。
- 上質な無垢材を使用した、シンプルで直線的デザインのソファ。FREEXソファ 286000円～。
- 様々な樹種を並べて、木の自然な色の違いを楽しめるデザインは、遊び心と実用性を兼ね備えている。SONOサイドボード168cm 719400円。

受け継ぐ、美意識。



連綿と続く伝統を未来へ。

博多織の伝統を守り継ぎ、新しい時代の装いへと昇華させている［OKANO］。凛として美しい着物は、確かな職人の緻密な手仕事によって生まれる賜物です。

博多織元として1897年に創業した［OKANO］の伝統技法は古くから信頼を集め、皇室への献上品や由緒ある寺院の意匠制作などにも取り組んできました。その一方で、日本が誇るきもの文化を世界に発信するべく、新しい博多織の在り方も探求。古典を取り入れた織のパターンを透明感のある色彩で現代的に表現するなど、常に進化を遂げています。

50年程前から福岡県那珂川市で稼働する［OKANO］の工場では、当初からある織機が今も現役で活躍中。通算産業大臣（当時）が認可した3名の伝統工芸士をはじめ、20代から80代を目前とした職人やスタッフが企画からデザイン、設計、糸繰、織り、検品までを一貫して行っています。

プリントではなく織りによって柄を出す博多織は、膨大な糸と色の結晶であり、気が遠くなるような複雑な構造をしています。まず、意匠室のスタッフが手描きの柄をパソコンに取り込み、画面上で経糸と緯糸の交差や色の出方を考えながら無数の小さなドットを配し、大きな型紙を起こしていきます。次に型紙に合わせて絹糸を選び、経糸用の糸を繰って織機にかけていくのですが、その数なんと、5000から6000本。この気の遠くなるような手作業こそ、作業全体の8割強を占めるそうです。さらに、美しい仕上がりに欠かせないのが、厳しい検品。ほんの小さな糸の擦りなどー カ所でもミスがあれば出荷はできません。意匠を考え、型紙を起こし、織り、検品する…すべての工程におけるすさまじいまでの集中力と美学が、揺るぎなき［OKANO］クォリティを支えているのです。

こうした製造工程に加え、直営店での販売までを一貫して行っている伝統織物の企業は、全国でも稀で数えるほどしかありません。店舗でのお客様の声を直接商品づくりに反映できるのも、［OKANO］の強みです。どうぞ博多リバレインモールの直営店で、伝統を受け継ぐ職人たちの想い、そして、唯一無二の技にふれてください。

OKANO 1F ☎092・283・8111

株式会社岡野
福岡県那珂川市片縄東1-6-21
☎092・952・3586

- 工場を案内してくださった取締役の山本裕子さんと、工場長で博多織伝統工芸士の阿比留哲也さん。
- 伝統的工芸品「博多織」の技術を後世に残したいという強い想いから制作する希少性の高い手織の名古屋帯。
- 柔らかくふっくらとした仕上がりのネクタイ。平和を願う吉祥紋様が織り込まれ、贈り物としておすすめです。

ただそれだけでも美しい色艶やかな絹糸。これらを重ねながら思い描いた柄の色を創出できるのは、伝統工芸士の経験と感性があればこそ。